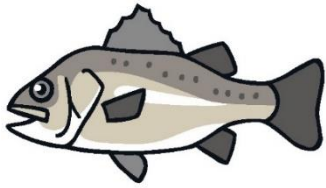


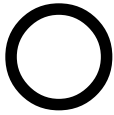
スズキ（東京湾）



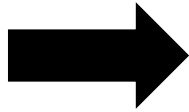
- ・ 漁獲のほとんどが東京内湾・内房海域で、中・小型まき網、小型機船底びき網などで漁獲される（千葉県は全国 1 位）。
- ・ 産卵期は 10 月下旬～3 月上旬で、産卵場は東京湾口部にある。
- ・ 1983 から 1998 年まで県が種苗放流を実施していたが、資源の増加により以降休止状態。

資源評価

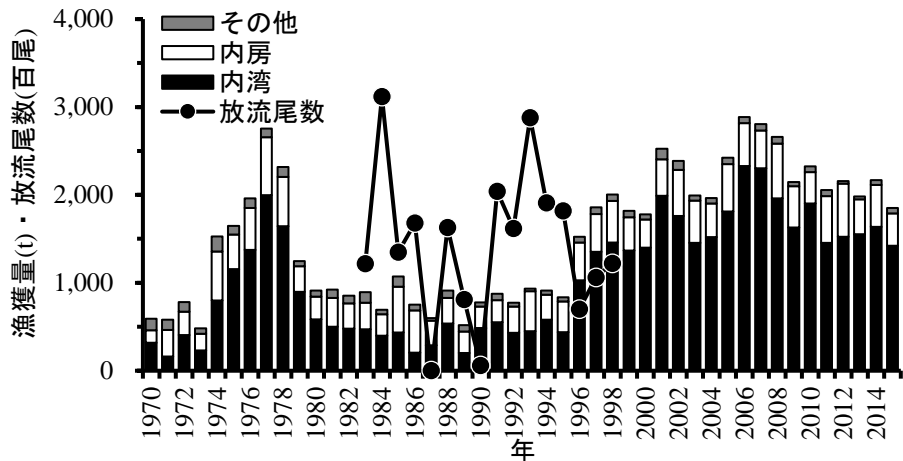
水準：中位



動向：横ばい



漁獲量



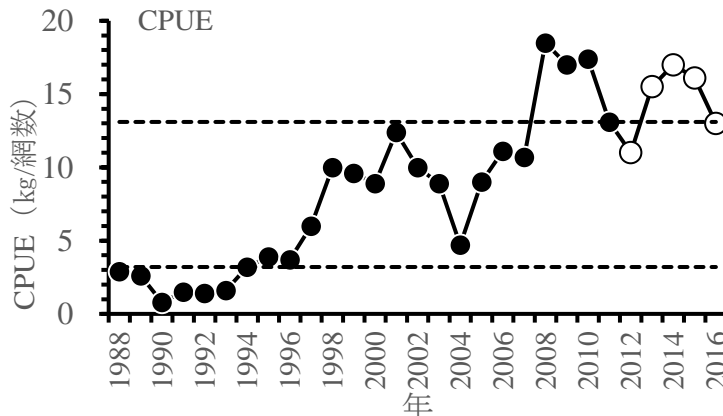
すずき類漁獲量（千葉農林水産統計年報）と放流尾数の経年変化

千葉県におけるすずき類の漁獲量は、1990 年代後半に著しく増加し、2,000t 前後の漁獲が続いている。

注) 資源水準は、原則過去 20 年以上の評価指標値 (CPUE) から 4 分位により評価した。
資源動向は、最近 5 年間の評価指標の近似式から年間 5%以上の増減の有無により判断した。

資源評価の判断

- ・ 資源水準及び動向は、底びき網の操業日誌から集計した CPUE（1 網当たりの漁獲量）で判断した。
- ・ 2016 年の資源水準は中位、最近 5 年間の資源動向は横ばい傾向となった。



底びき網の標本漁船によるスズキの 1 網当たり漁獲量 (kg/網 ; CPUE) の経年変化

資源管理の取り組み

- ・ 東京湾においては、底びき網で休漁日の設定、操業時間の制限、漁具の制限など、まき網で冬期の休漁期間の設定など、漁業者による自主的な資源管理が行われている。